

第5回 さいとう健と語る

ゲスト **寺脇 研** 氏



テーマ 「日本の教育問題を考える」

今回の「第5回さいとう健と語る」は、元文部官僚で現在多くのTV番組に出演している、寺脇 研氏を講師に迎え、さいとう健とともに日本の教育問題を考えていきます。質疑の時間もありますので、ふるってご参加下さい。

寺脇 研先生プロフィール

福岡県生まれ。ラ・サール高校を卒業後、東大法学部に進学。1975年、文部省(現・文部科学省)入省。キャリア官僚として、職業教育課長、広島県教育長などを歴任し、その後は、同省が提唱した1990年代までの「ゆとり教育」の推進者としてマスコミに数多く登場。

文部科学省のスポークスマンの役割を担っていたが、現在は、映画評論家、京都造形芸術大学教授などの他、「教育」討論番組にも数多く出演し活躍している。

1. 日時 平成19年9月22日(土)
13:30/受付 14:00~16:00/講演
2. 場所 流山市生涯学習センター(流山セントラルパーク駅前)

※参加御希望の方は、人数を把握する必要上、下欄にご記入の上
04-7157-6224(さいとう健後援会事務所)までFAX願います。

| お名前 | 住所 | 電話番号 |
|-----|----|------|
| | | |
| | | |
| | | |

強い経済力がなければ社会福祉もやりようがありません。強い産業国家を目指しながら、同時にその力によって社会福祉を充実させ、誰もが安全で安心して暮らせる日本を作り上げてゆく、これこそが、わが日本の追い続けるべき永遠のテーマではないでしょうか。

人材こそ大事にすべき資源

もう一つ付け加えますと、日本が有する唯一の資源とっていいのが、人材です。この大事な資源をいかに大事に育てるか、つまり、倫理性に富み、きちんとした教育水準を維持した人材をいかに育成し続けるか、これもまた日本の原点だと思います。

優先順位の時代表

この原点を大事にすることから、見えてくるものがあります。それは、政策の優先順位です。

財政難の折、すべての政策を実行するこ

とは不可能です。いかに、優先順位をつけてゆくかがこれからの政治の重要な役割になってきますが、原点がなければ優先順位もつけられず、下手をすると、声の大きな者の言うことが通るといふことにもなりかねません。

さいとう健の政策優先順位につきましては、おいおいこの「月刊さいとう健」でご紹介してまいりますが、財政難の時代ほど、国政を担う政治家の軸が大事になるのだと思います。

日本原点、「強く、やさしい国」づくりに、さいとう健は微力ながら力を尽くしていきたいと考えています。

発行元 **さいとう健 後援会**
〒270-0137
千葉県流山市市野谷665-40-103
TEL 04-7157-6223 FAX 04-7157-6224
http : www.saito-ken.jp

※「月刊さいとう健」配布につき、ご協力頂けます方がおられましたら助かります。ご一報いただければ幸いです。